



大門小だより

3月号

大門大好き いい仲間 進んで学ぼう 元気な子

令和3年2月26日
横浜市立大門小学校



10年という歲月

校長 能登 正明

3月になりました。新しい春が少しずつ近づいてきていますが、3月11日ももうすぐ巡ってきます。今年は、東日本大震災から10年目の年です。

2011年（平成23年）の3月11日の金曜日の午後、私はある小学校の副校長として、体育館で行われる学校説明会の準備をしていました。その時突然、今まで経験したことがない揺れに襲われました。校長が「大きいぞ！」と叫んでいる中、校庭の安全を確認にいくと、防球ネットを支えている太い鉄柱が左右に大きくしなりながら揺れていました。

その日は鉄道が止まり、都内にいた妻は歩いて真夜中に家に帰ってきました。信号や街灯、家の明かりは停電で消えており、町全体が闇に沈んでいました。その後も計画停電が続く中、食糧品や乾電池が品切れになったり、ガソリンスタンドも給油制限が行われたり、混乱の日々が続きました。

混乱の中でしたが、学校での教育活動は週明けの14日の月曜日から、給食は中止となったものの通常通り行われました。卒業式に向けての練習や、学習や生活のまとめなど、学校の日常は休むことなく続けられました。余震や停電で世の中が混乱している中で、今思い返しても毎日学校があったことはすごいことだったように感じます。

我が子は、その時小学校2年生でした。預けていた学童保育に夜中に迎えに行ったことを思い出します。その子も今は高校3年生となりました。10年前はあどけなかったのに、今では私より身長が高くなりふてぶてしくなった姿(?)を見ると、10年という年月はあっという間だったように感じます。しかし、被災地の復興の状況を見ると、今でも故郷に帰れない方がたくさんいらっしゃいます。この10年という年月を長く感じておられる方もたくさんいらっしゃると思います。

昨年からの新型コロナウイルス感染症の世界的流行、それに伴う学校の臨時休業やオリンピックの延期といった出来事は、10年後にどのように思い出されるのでしょうか。この教訓を生かし、もっと安全安心な世の中になっているのでしょうか。また、これからの10年という年月は、どう感じられるのでしょうか。あっという間だと感じるのか、長い年月だと感じるのか。私自身、人生の時間の使い方を切実に考えなければならない歳になってきたからでしょうか、そんなことを考えてしまいます。

卒業を迎える6年生の10年後は、それぞれの道で活躍を始める年頃になっていることでしょう。小学校で学んだこと、またこれから学んでいくことを糧に、大きく羽ばたいて行ってほしいと思います。他の学年も4月から学年が上がり、新しい1年生も入学してきます。今までの成長を確かめながら、次のステップに向かって進んでいきましょう。

2月の教育活動の様子



4年生 オンラインブラインドサッカー人権教室 2月2日(火)

ブラインドサッカーの選手をファシリテーターに迎え、Zoomを使って実施しました。視覚に障害のある方の生活の様子やブラインドサッカーについて、話をうかがいました。苦手なことも助け合えばその人の苦手ではなくなることや相手のことを考えて行動することの大切さなどに気が付きました。後日、実際にブラインドサッカー用のボールを使って体験すると、難しさを実感していました。



5年生 新1年生へのパンフレットづくり

新1年生や保護者に「大門小学校や学校のことを伝えるものを考えよう」とパンフレットづくりを行いました。「学校での一日」、「学習」、「給食」など様々なテーマで伝えたいことを考えました。「4月に大門小で待ってるよ」というメッセージを込めて作ることができました。新1年生入学説明会の際に、お渡しすることができました。



ESD推進校交流報告会 2月5日(金)

横浜市内でESDを推進している小中学校の児童・生徒がZoomを使ったオンラインで交流しました。本校からは、3年1組と4年3組の代表児童が参加し、総合的な学習の時間で取り組んだことを、ポスターや紙芝居で発表しました。感想・質問交流では、大門小学校の児童が意欲的に感想を話したり質問したりする姿があり、交流報告会を大いに盛り上げていました。



6年生 発達障害理解啓発グループ「アントママ」人権教室 2月8日(月)

アントママの方々を講師として、Zoomでの授業を行いました。一人ひとり「みんなちがってあたりまえ」というお話をうかがいました。苦手なところや困っている部分をサポートしたり、そのための工夫したりすることの大切さや、一人ひとりが相手のことを考えると誰もが過ごしやすくなることを教えていただきました。



3年生 NASダンス教室 2月15日(月)

スポーツクラブNAS瀬谷の方々によるダンス教室が行われました。講師の先生が考えてくれた、人気アニメの主題歌に合わせた振り付けを教わりました。一生懸命練習し、リズムダンスを楽しみました。普段の体育の学習では、なかなか味わうことのできない貴重な体験をし、3年生は心も体も元気になり、とても喜んでいました。



個別支援学級 市合同学習発表会 2月22日(月)

6組プロジェクトの一年間の学習を生かし、チームで力を合わせて、劇「ばけたくん〜ダイヤいちごの巻〜」を発表しました。保護者の方々、職員の前で学習の成果を堂々と発表することができ、達成感を味わいました。今年度は映像で発表を鑑賞し合い、他校と交流します。この経験を自信にして、ゴールまで頑張ります!!

学年末の 各学年のようす

今年度もいよいよまとめの時期となりました。コロナ禍で行事や学習に制限がある中でしたが、今できることに取り組み、子どもたち一人ひとりに大きな成長が見られました。学年末の各学年の様子をお伝えします。

4年生

国語「調べて話そう生活調査隊」では、保護者の方にご協力いただいたアンケートを友達と協力して集計しました。生活の中での困り感を分析し、これからよりよい社会を創っていくための解決策を考えています。



1年生

生活科では、一年間でできるようになったことを振り返りました。そして、自分たちの成長に気付き、新1年生のためにできることを考えました。楽しい学校の様子や、花の絵など、新1年生の教室を飾るものをつくりました。



5年生

卒業する6年生のために、自分たちができることを考えたり話し合ったりしながら、協力して活動に取り組んでいます。次の最高学年は自分たちだ、という意識をもって生活するように声をかけています。



2年生

生活科では、今の自分の得意なことや好きなことを手がかりに、これまでの自身の成長を振り返る学習をしています。家族などの身近な人に取材する計画を立て、早く調べたい様子の児童もいました。



6年生

家庭科「共に生きる生活」の活動で、校内の清掃を行いました。分担した場所のごみの種類を調べ、掃除の仕方の工夫を考えました。卒業を前に6年間過ごした学校に感謝の気持ちをもって取り組みました。



3年生

4年生から始まる教科担任制に向けて、社会科学・理科・図工科で、各担任による交換授業を始めました。新鮮な気持ちで、子どもたちは、これまで以上に熱心に学習に取り組んでいます。



個別支援学級

音楽の学習でハンドベル演奏に挑戦しました。グループに分かれ、「きらきらぼし」「小さな世界」を演奏して聴き合いました。演奏の様子をニチイケアセンターほほえみの方にも伝え、交流することになっています。



今月の「大門ふれあい農園」

一年間の農園での活動も終わり、農園委員会では来年度に向けた準備を行っています。農園委員長を中心に、6年生が5年生をリードし、5年生も協力して農園活動を支えてきました。



テレビ放送で「農園ニュース」を流し、来年度も「大門小の宝物である畑を大切に頑張ってほしい」「農園活動も最高の思い出を！」と農園委員長からメッセージが伝えられました。農園活動を支えてくださった地域の皆様、ボランティアの皆様、一年間本当にありがとうございました。



児童支援専任から

放課後の遊び方についてご確認ください



- 誰とどこで何時まで遊ぶのか
- 危険な場所で遊んでいないか、危険な遊び方をしていないか
- たくさんのお金をもって遊んでいないか
- 子どもたちだけでゲームセンターや大型ショッピングセンター等に行っていないか
- 交通ルールを守っているか（自転車やキックボードの乗り方等）
- 携帯電話やスマートフォンで危険行為はしていないか（LINEトラブルやゲームアプリの課金トラブル等は年々増加しています）

その他、瀬谷区ではどの学校も帰宅時間は午後5時までとしています。連れ去り防止、不審者に合わないために帰宅時間を守るよう、声かけよろしくお願いたします。